

『Android利用動向調査報告書2012』 レポート資料を販売開始  
～Android  
OSを搭載したスマートフォンとタブレット端末の個人・法人利用  
実態とAndroid市場の動向を解説！AndroidのOSシェアはスマート  
フォンで60.9%、タブレット端末で25.6%。iOSユーザーとの違  
いが鮮明に！～

=====

『Android利用動向調査報告書2012』 レポート資料を販売開始

～ Android

OSを搭載したスマートフォンとタブレット端末の個人・法人利用実態とAndroid市場の動向を解説！AndroidのOSシェアはスマートフォンで60.9%、タブレット端末で25.6%。iOSユーザーとの違いが鮮明に！～

≫ 『Android利用動向調査報告書2012』 資料詳細・販売ページ

<http://planidea.jp/cc/psr/2012013001>

=====

マーケティング・リサーチ&コンサルティングサービスを提供するPLANiDEA LLC.  
(プラニディア合同会社)

は、ビジネス専門資料のオンライン販売サイト [SurveyReport] にて、株式会社  
インプレスR&Dによる 『Android利用動向調査報告書2012』 の販売を開始いたしました。

≫ 『Android利用動向調査報告書2012』

<http://planidea.jp/cc/psr/2012013001>

【資料概要】

スマートフォン個人利用 [約1,700人]、タブレット端末個人利用 [約900人] のユーザを対象にAndroid端末の利用動向を、法人のIT導入担当者 [約1,636人] からはAndroid搭載スマホ/タブレット端末の導入状況・意向を調査！

2007年のiPhoneの登場を皮切りにスマートフォン市場は急速に拡大してきており、発売される携帯電話端末もスマートフォン中心になってきています。しかし、現在ではNTTドコモやauからAndroidを搭載したスマートフォンが次々に発売され、OSシェアではiOSを逆転しています。

また、タブレット端末も当初、発売されていた機種はiOSを搭載したiPadなどに限定されていましたが、Androidを搭載した機種も発売されるようになり、市場は急成長の様相を呈しています。

本調査報告書 『Android利用動向調査報告書2012』 では、

1. 約9万人に対するスマートフォンやタブレット端末所有率の調査
2. 実際にスマートフォンを利用している個人ユーザーを対象とした

- 「個人のスマートフォン利用動向調査」  
3. 実際にタブレット端末を利用している個人ユーザーを対象とした  
「個人のタブレット端末利用動向調査」  
4. 法人のIT担当者を対象とした 「法人のタブレット利用動向調査」  
という4つの定量調査をもとに、個人と法人のAndroidの利用実態を解説しています。

個人では 「Androidスマートフォンユーザーの性年代別集計」  
「Androidを利用しているスマートフォンユーザーとタブレット端末ユーザーの比較」  
「タブレット端末ユーザーのOS別集計 (iOS/Android)」 「スマートフォンユーザーのOS別集計 (iOS/Android)」、法人では 「OS別」 「従業員規模別」  
などさまざまなクロス軸に基づくエクセルの数表とグラフもCD-ROMに収録しており、すぐに活用できます。

さらに、市場予測も含めてAndroid市場の動向を解説するとともに、グーグルの戦略、デバイスやサービスへの意向と予測、Androidの今後の展開と可能性についても解説しています。

本書の関連報告書、モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC) スマートフォン推進委員会監修によりスマートフォンの利用実態をまとめた  
『スマートフォン利用動向調査報告書2012』、タブレット端末の利用実態をまとめた  
『タブレット端末利用動向調査報告書2012』 とあわせてご活用ください。

≫ 『スマートフォン利用動向調査報告書2012』  
[http://surveyreport.planidea.jp/products/detail.php?product\\_id=523](http://surveyreport.planidea.jp/products/detail.php?product_id=523)

≫ 『タブレット端末利用動向調査報告書2012』  
[http://surveyreport.planidea.jp/products/detail.php?product\\_id=524](http://surveyreport.planidea.jp/products/detail.php?product_id=524)

#### 【『Android利用動向調査報告書2012』のポイント】

- 個人と法人のAndroid搭載スマートフォン/タブレット端末の利用実態！
- スマートフォン/タブレットの市場予測も含めAndroid市場動向を解説！
- スマートフォンとタブレット端末の所有率調査は約9万人の対象者から！
- Android搭載スマートフォンとタブレット端末、各ユーザの傾向も比較！
- グーグルの戦略、Androidの今後の展開と可能性についても解説！
- すぐに活用できる様々なクロス集計表とグラフを付属CD-ROMに収録！

※ SurveyReport本サイトにて、掲載図表のサンプルを公開中です。  
<http://planidea.jp/cc/psr12012013001>

#### 【『Android利用動向調査報告書2012』 注目の調査結果】

▼ AndroidのOSシェアはスマートフォンで60.9%、タブレット端末で25.6%

スマートフォンユーザーの使用機種ランキングでは、iPhone 4が21.8%で突出して高く、以下、iPhone 3GS (7.8%)、Xperia (4.4%)、REGZA Phone T-01C (4.2%)、MEDIAS N-

04C (4.1%) と続きます。ほぼ1年に1機種しか発売されないiPhoneに対して、数多くの機種が発売されるAndroidではユーザーの使用機種が分散されるものと思われます。OSシェアで見た場合、Androidが60.9%、iOSが36.3%、その他が2.8%となっており、OSシェアではAndroidのシェアのほうが高くなっています。

また、主に利用しているタブレット端末は、iPadシリーズの4機種が上位を独占し、合計で69.8%に達しています。iPadの中では、現行機種、旧機種ともにWi-Fiモデルのほうが上位となっています。Android端末では、「GALAXY Tab」が8.8%、「レグザタブレット AT300/24C」が2.7%となっています。OSシェアでは、iOSが69.9%、Androidが25.5%、その他/不明が4.6%となっており、iOSが圧倒的なシェアとなっています。



有料アプリのダウンロード経験はAndroidスマートフォンユーザーの27.7%、Androidタブレット端末ユーザーの22.9%で、iOSユーザーと大きな差

アプリストアからのアプリのダウンロード経験は、Androidスマートフォンユーザーの95.8%がアプリのダウンロード経験があり、有料のアプリをダウンロードしたことのあるユーザーは27.7% (27.3%+0.4%) となっています。

有料アプリのダウンロード経験があるスマートフォンユーザーは、iOSユーザーで60.4%、それに対しAndroidユーザーでは27.7%にとどまっています。一方、Androidタブレット端末ユーザーのアプリストアからのアプリのダウンロード経験は79.1%であり、有料のアプリをダウンロードしたことのあるユーザーは22.9% (21.4%+1.5%) となっています。

有料アプリのダウンロード経験があるタブレット端末ユーザーは、iOSユーザーで53.3%、それに対しAndroidユーザーでは22.9%にとどまっており、有料アプリのダウンロード経験に大きな差が見られます。

▼ 法人のスマートフォン導入でAndroid利用予定は36.1%で最も高い

スマートフォンの再来年度 (2013年度) までに導入予定がある企業は合計で16.6%、「時期未定だが、導入を検討している」が13.2%となっています。スマートフォン導入で利用予定のOSは「Android系」が36.1%で最も高くなっており、「Windows系」が33.8%と続きます。Android端末が出そろったことや自由度の高さが、Android系が急伸の要因と考えられます。

タブレット端末の再来年度 (2013年度) までに導入予定がある企業は合計で12.7%、「時期未定だが、導入を検討している」が12.5%となっています。タブレット端末導入で利用予定のOSは「iOS」が36.8%で最も高くなっており、「Windows系」が36.6%とほぼ同比率で続き、「Android系」は23.0%にとどまっています。

【『Android利用動向調査報告書2012』 調査概要】

## ■ 個人のAndroid利用動向調査

【調査対象】

【利用率調査】 パソコンでインターネットを利用している13歳以上の個人

【スマートフォン利用者実態調査】

スマートフォンでインターネットを利用している13歳以上の個人

【タブレット端末利用者実態調査】 タブレット端末を利用している13歳以上の個人

【対象地域】 全国

【調査方法】 パソコン上でのインターネット調査

【調査実施主体】 株式会社インプレスR&D

【有効回答数】

【利用率調査】 93,468

【スマートフォン利用者実態調査】 1,707

(メイン端末としてスマートフォンを利用している人:

1,619、2台目の端末でスマートフォンを利用している人 : 88)

【タブレット端末利用者実態調査】 888

【調査期間】

【利用率調査】 [2011年9月29日\(木\)](#) ~ [10月6日\(木\)](#)

【スマートフォン利用者実態調査】 [2011年10月12日\(水\)](#) ~ [10月14日\(金\)](#)

【タブレット端末利用者実態調査】 [2011年10月28日\(金\)](#) ~ [11月3日\(木\)](#)

## ■ 法人のAndroid利用動向調査

【調査対象】 IT導入に関与している人

【対象地域】 全国

【調査方法】 PC上のインターネット調査

【調査実施主体】

モバイルコンピューティング推進コンソーシアム (MCPC) と株式会社インプレスR&D

【有効回答数】 1,636

(企業の業種別・雇用者規模別・雇用者数構成比に可能な限り整合するようにサンプリング)

【調査期間】 本調査 : [2011年9月16日\(金\)](#) ~ [2011年9月20日\(木\)](#)

【『Android利用動向調査報告書2012』 資料目次】

## 第1章 市場データから見たAndroid利用動向

### 1.1 Android利用動向

#### 1.1.1 バージョンごとの普及率と対応言語

#### 1.1.2 OHA (Open Handset Alliance)

### 1.2 スマートフォンの状況

#### 1.2.1 スマートフォン市場の中期予測

#### 1.2.2 スマートフォンでのAndroid普及率

### 1.3 タブレット端末の状況

#### 1.3.1 タブレット端末市場の中期予測

### 1.3.2 タブレット端末でのAndroid普及率

## 1.4 マーケットプレイスの動向と乱立

## 第2章 サービスとデバイスの視点から見たAndroidと今後の展望

### 2.1 グーグルの戦略

#### 2.1.1 サービス多角化とAndroid OS

#### 2.1.2 Android OSのバージョンとその特徴

#### 2.1.3 スマートフォンに関する戦略

#### 2.1.4 ソーシャルネットワークサービスへのアプローチ

### 2.2 デバイスやサービスへの意向と予測

#### 2.2.1 ハードウェア

#### 2.2.2 アプリケーション

#### 2.2.3 コンテンツ

#### 2.2.4 ソーシャルネットワークサービス

#### 2.2.5 クラウドサービス

### 2.3 Androidの今後の展開と可能性

#### 2.3.1 スマートフォン以外への展開

#### 2.3.2 公式のAndroid OSからの分岐

#### 2.3.3 日本におけるカスタマイズ版のAndroid OSの可能性

## 第3章 調査結果のハイライト

### 3.1 個人のAndroid利用動向ハイライト

### 3.2 法人のAndroid利用動向ハイライト

## 第4章 個人のAndroid利用動向

### 4.1 調査概要

#### 4.1.1 目的

#### 4.1.2 調査概要

#### 4.1.3 留意事項

#### 4.1.4 誤差について

#### 4.1.5 回答者のプロフィール

### 4.2 所有率と所有者属性

#### 4.2.1 スマートフォン所有率

#### 4.2.2 スマートフォン利用者の性年代構成

#### 4.2.3 タブレット端末所有率

#### 4.2.4 タブレット端末所有者の性年代構成

### 4.3 使用機種と購入状況

#### 4.3.1 主に利用しているスマートフォン

#### 4.3.2 主に利用しているタブレット端末

#### 4.3.3 利用開始時期

#### 4.3.4 現在利用している機種を購入する際に重視した項目

#### 4.3.5 購入時の代金支払い方法

#### 4.3.6 購入金額

#### 4.3.7 端末を利用し始めたきっかけ

#### 4.3.8 次回買い換え予定時期

#### 4.3.9 今後購入の際に重視したい項目

### 4.4 満足度と評価

#### 4.4.1 現在利用している端末の満足度

#### 4.4.2 満足している点

#### 4.4.3 不満な点

### 4.5 利用環境

#### 4.5.1 無線LANの使用状況

#### 4.5.2 利用している通信回線

#### 4.5.3 スマートフォン/タブレット端末の利用場所

#### 4.5.4 スマートフォン/タブレット端末を利用する時間帯

#### 4.5.5 モバイルデータ通信の利用有無

### 4.6 料金

#### 4.6.1 1か月の利用料金

#### 4.6.2 アプリ・コンテンツ料金

### 4.7 利用機能

#### 4.7.1 利用している機能

#### 4.7.2 業務利用の有無

#### 4.7.3 利用しているメール/メッセージ

#### 4.7.4 メール/メッセージの利用が多い端末

#### 4.7.5 メールマガジンの利用状況

### 4.8 コンテンツ利用全般

#### 4.8.1 利用しているアプリ・コンテンツ

#### 4.8.2 利用しているソーシャルメディア

#### 4.8.3 利用しているEC

#### 4.8.4 有料コンテンツやアプリ利用率

#### 4.8.5 タブレット端末の用途別利用時間の割合

## 4.9 アプリ利用状況

### 4.9.1 アプリとウェブの比率

### 4.9.2 利用しているアプリストア

### 4.9.3 アプリストアからのダウンロード経験

### 4.9.4 ダウンロードしたことのある無料アプリのジャンル

### 4.9.5 ダウンロードしたことのある有料アプリのジャンル

### 4.9.6 1か月のアプリの料金

## 4.10 EC

### 4.10.1 オンラインショッピングで購入したことのある商品のジャンル

### 4.10.2 ここ1年間にオンラインショッピングで利用した金額

## 4.11 広告

### 4.11.1 タブレット端末でのインターネット広告の視認状況

### 4.11.2 広告を見た後の行動

## 4.12 タブレット端末利用による変化

### 4.12.1 タブレット端末利用による変化

## 4.13 セキュリティー

### 4.13.1 セキュリティーに対する不安

### 4.13.2 実施している対策

## 第5章 法人のAndroid利用動向

### 5.1 調査概要

#### 5.1.1 目的

#### 5.1.2 調査概要

#### 5.1.3 留意事項

#### 5.1.4 誤差について

#### 5.1.5 回答者のプロフィール

### 5.2 導入状況

#### 5.2.1 スマートフォンの導入率

#### 5.2.2 利用しているスマートフォン端末

#### 5.2.3 利用しているスマートフォンのOS

#### 5.2.4 タブレット端末の導入率

#### 5.2.5 利用しているタブレット端末

#### 5.2.6 利用しているタブレット端末のOS

#### 5.2.7 スマートフォンを利用する理由

#### 5.2.8 タブレット端末を利用する理由

5.2.9 スマートフォン導入の満足度

5.2.10 タブレット導入の満足度

5.3 モバイルソリューション

5.3.1 スマートフォンで利用しているモバイルソリューション

5.3.2 タブレットで利用しているモバイルソリューション

5.4 今後の意向

5.4.1 スマートフォンの新規・追加導入意向

5.4.2 スマートフォン導入で利用予定のOS

5.4.3 タブレット端末の新規・追加導入意向

5.4.4 タブレット導入で利用予定のOS

付録 CD-ROM

- ・ 本文 (PDF)
- ・ 集計表 (エクセル)

#### 【商品概要】

商品名 : 『Android利用動向調査報告書2012』

発刊 : [2012年1月](#)

発行 : 株式会社 インプレスR&D

編集 : 株式会社 インプレスR&D インターネットメディア総合研究所

販売 : PLANiDEA SurveyReport運営事務局

判型 : A4判 240ページ

価格 :

報告書 [PDF版]

60,900円 (本体価格 58,000円+消費税 2,900円)

報告書セット [PDF版+製本版]

71,400円 (本体価格 68,000円+消費税 3,400円)

販売ページURL :

<http://planidea.jp/cc/psr12012013001>

#### ■ 関連サイトURL

PLANiDEA [SurveyReport]

<http://surveyreport.planidea.jp/>

#### ■ 本件に関するお問合せ先

プラニディア合同会社 広報担当

URL : <http://planidea.jp/contact.html>

E-Mail : [info@planidea.jp](mailto:info@planidea.jp)

---

Generated by ふれりりプレスリリース

<https://www.prerele.com>